
バカとテストとけいおん部

yosi4128

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

バカとテストとけいおん部

【Nコード】

N0577X

【作者名】

yosida128

【あらすじ】

バカとテストと召喚獣の世界にけいおんの5人がいたらという二次創作です。けいおんの世界からはけいおん部の五人しか登場しません。けいおん部の5人は明久に恋しています。梓は明久や唯などと同級生という設定にしております。一部原作ブレイクします。明久×瑞希・明久×美波・明久×秀吉にもなると思います。明久はハレム状態?になると思います。木下秀吉は女子という設定になっていて一部原作設定が違います。明久の学力は教師レベルに設定しております。こんな設定は嫌だという人はスルーして下さい。作者

はバカとテストと召喚獣の原作は小説しか知りません。けいおんに
関してはアニメしか知りません。

けいおんのキャラの設定(前書き)

作者のYosida128です。文才のない私が書く小説ですが、読んでいただければ幸いです。

けいおんのキャラの設定

平沢 唯 (ひらさわ ゆい)

所属クラス 2 - F

Aクラス下位並の学力だが、明久が瑞希を保健室に連れて行くために振り分け試験を途中退席したことから、名前を無記入で提出した。平沢憂並の家事能力を持っている。明久のことは、ナイトと呼んでいる。

得意科目 現代国語 古典 社会系の科目 (500点ぐらい)

苦手科目 数学 保健体育 (150点ぐらい)

秋山 澪 (あきやま みお)

所属クラス 2 - F

Aクラス上位並の学力だが、明久が瑞希を保健室に連れて行くために振り分け試験を途中退席したことから、名前を無記入で提出した。明久のことは、旦那様と呼ぶ。

得意科目 数学 理科系の科目 (450点ぐらい)

苦手科目 保健体育 (250点ぐらい)

田井中 律 (たいなか りつ)

所属クラス 2 - F

Fクラス並の学力なので、普通に振り分け試験は受けた。Fクラスのムードメーカー的存在である。
明久のことは、アツキーと呼んでいる

得意科目 なし

苦手科目 全教科

琴吹 紬 (ことぶき つむぎ)

所属クラス 2 - F

Aクラス上位並の学力だが、明久が瑞希を保健室に連れて行くために振り分け試験を途中退席したことから、名前を無記入で提出した。明久のことは、明久様と呼ぶ。明久を婚約者にしたいと両親に頼んでいる。

得意科目 なし

苦手科目 なし

全科目400点以上

なかの
中野 梓

所属クラス 2 - F

Aクラス主席並の学力だが、明久が瑞希を保健室に連れて行くため

に振り分け試験を途中退席したことから、名前を無記入で提出した。
明久のことは、アキ様と呼んでいる。

得意科目 数学 理科系以外の科目 (550点ぐらい)

苦手科目 数学 理科系の科目 (350点ぐらい)

けいおんのキャラの設定（後書き）

バカテストはどうしたらいいのか皆様の意見をお聞かせ願えればありがたいです。

バカテスキャラの設定(前書き)

連続投稿はきついですね。これからは更新がかなり遅くなると思います。

バカテストキャラの設定

吉井 明久 (よしい あきひさ)

所属クラス 2 - F

原作と違う点

教師並の学力(担当科目教師以上の点数を取れる)

本来なら2 - Aクラスの代表。仕送りは計画的に使っていて、人並みの生活を送っている。

自分の恋愛に関しては鈍感ではなくなっていて、人並みである。

雄二とは悪友ではなく親友である。

観察処分者ではないが、召喚獣の操作技術は学年トップ。

得意科目 全て (800点以上)

姫路 瑞希 (ひめじ みずき)

所属クラス 2 - F

原作と違う点

料理に科学薬品は使わないため、絶品料理を作る。

明久に暴力やお仕置きはしなくなっている。

学力は学年次席並み (久保とは総合科目600点差ぐらい)
明久のことをすでに明久君と呼んでいる。

得意科目 数学 (550点以上)

苦手科目 なし

島田 美波 (しまだ みなみ)

所属クラス 2 - F

原作と違う点

明久に暴力やお仕置きはしなくなっている。
明久に対して照れ隠しはしていない。
自分に素直になっている。
明久のことをすでにアキと呼んでいる。

得意科目 数学 英語 (250点ぐらい)

苦手科目 古典 現代国語 (50点ぐらい)

坂本 雄二 (さかもと ゆうじ)

所属クラス 2 - F

原作と違う点

Fクラス代表だが、Aクラス主席並みの学力。
明久の中には悪友ではなく、親友である。

得意科目 なし

苦手科目 なし

全科目 450点ぐらい

木下 秀吉 (きのした ひでよし)

所属クラス 2-F

原作と違う点

明久に恋心を抱いている。また女子であるということ。

得意科目 なし

苦手科目 全て (80点ぐらい)

他の原作キャラは設定は変えていくつもりは現在はない。

バカテスキャラの設定（後書き）

バカテストのアイデアが思いつきません。皆様の意見を頂けるとうれしいです。

今回はプロローグの予定ですが、いつ投稿できるかは未定です。

バカテスト 第1問（前書き）

バカテストが思いついたので先に投稿します。アクセス数が5000を超えているのでびっくりしました。文才のない私の作品ですが、これからもよろしくお願いします。

バカテスト 第1問

バカテスト 第一問 保健体育

問 以下の問いに答えなさい。

『女性は（ ）を迎えることで第二次性徴調期になり、特有の体つきになり始める』

姫路瑞希・吉井明久・中野 梓の答え

『初潮』

教師のコメント

正解です。3人とも流石ですね。

平沢 唯

『ナイト（明久）とのデート』

教師のコメント

あなたは吉井君のことが好きなのですか。先生は応援しています。ですが、もう少し保健体育を勉強して下さい。

秋山 澗の答え

『恥ずかしくて書けません。』

田井中 律の答え

『先生のエッチ』

教師のコメント

決してそのようなことで問題は出題していません。秋山さんも恥ずかしい事はありませんので、テストに集中して下さい。

琴吹 紬の答え

『明久様とのS X』

教師のコメント

なんと、琴吹さんいったいどうしたのですか？そういったことは、結婚してからにしましょう。それにしてもあなたも吉井君ですか。いえ決して羨ましいなどとは思っていません。

琴吹 紬のコメント

他にも明久様を好きな娘がいるのですか！！

土屋康太の答え

『初潮と呼ばれる、生まれて初めての生理。医学用語では、生理のことを月経、初潮のことを初経という。初潮年齢は体重と密接な関係にあり、体重が43kgに達するところに初潮をみるものが多い為、

その訪れる年齢には個人差がある。日本では平均十二歳。また、体重の他にも初潮年齢は人種、気候、社会的環境、栄養状態などに影響される』

教師のコメント

詳し過ぎです。

バカテスト 第1問（後書き）

次こそはプロローグを投稿できればと考えていますが、どうなるかは作者にも判りません。感想や作品のアドバイスなどお待ちしております。感想やレビュー・ポイントは作者の励みになりますので、よろしく願います。これが少ないと作者は創作意欲が出ません（笑）

第0話 プロローグ(前書き)

なんとか完成したので投稿します。次回の投稿は未定です。感想の返信などができずに申し訳ありません。必ず返事はしたいと思えます。

第0話 プロローグ

ある日の5人の会話

唯「皆、私好きな人ができちゃったんだよ。」

律「おう唯、それは誰なんだ？」

唯「それは吉井明久君だよ。私のナイトなんだ。ナンパされてるときに助けてくれてさあ。」

唯のこの一言で他のメンバーは、ライバルが増えたと思った。

梓「唯もアキ様のことが好きなんですか！？駄目ですアキ様と恋人になるのは私です。」

律「おいおい梓何を言っている？アッキーと恋人になるのは私だ！」

梓「律こそ何を言っている。律みたいながさつな女の子は明様の好みではないよ。」

漣「まあまあ二人とも落ち着ちてくれよ。唯も梓も律も何を言っているんだ？旦那様と恋人になるのはこの私だ！！」

ムギ「漣ちゃんも何を言ってるの？明久様と恋人どころか婚約者になるのは私よ！？」

唯「だったら皆でナイトの恋人になればいいんじゃない。」

律「それは名案だな、唯。皆はどうだ？」

ムギ「私はそれでいいわ。明久様に愛してもらえるなら」

梓「いいですよ。皆さんを超えて私がアキ様の一番になりますから」

漣「皆がいいならいいよ。」

律「じゃこれからは私達は恋する仲間ってことだな。」

唯「これからは皆で互いにサポートしていくってことだね。」

梓「アキ様はAクラスの代表になるはずですから、私達はAクラス入りすればいいってことですよね。」

漣「だが、ここに一人問題のあるやつがいるぞ？なあ律？」

律「漣、私がバカだとも言いたいのか？」

漣「違うのか？」

律「私だってAクラスに入れるぞ！！」

漣「律、三権分立の司法と国会とあとひとつはなんだ。」

律「なめるなよ漣。二つまで答えが絞れるぜ。」

漣「ほう？二つ？」

律「漢方が憲法のどちらかだ!!」

漣「馬鹿。行政だ!!」

ボコっという音が響いた

律「何するんだよ漣!!私の頭を殴ることはないだろう。」

梓「律はAクラスどころかFクラス確定ね(汗)」

律「おい梓なんてことを言っただ。」

唯「ごめんりっちゃん。あずにゃんの言うとおりでよ。」

律「ムギ皆が私をいじめよ(泣)」

ムギ「ごめん。りっちゃん皆の言っていることは間違っていないわ。」

律「皆なんか嫌いだ!!」

唯「まあまありっちゃん。私達がナイトと仲良くなってるりっちゃんと接点つくるから。」

律「本当か唯。じゃ恋の共同連盟を作ろうぜ。」

5人「解った(わ) (ぜ)」

こうして5人は明久の恋人になるための共同戦線を誓ったのであった。

第0話 プロローグ（後書き）

いかがでしたでしょうか。私はまったく自身がありません。ですがこれからも精一杯書いていこうと思います。次回はバカテストの予定です。

バカテスト 第2問（前書き）

バカテスト第2問投稿です。なかなか考えるのが難しいです。

バカテスト 第2問

問題 第二問 国語

以下の意味を持つことわざを答えなさい

- (1) 得意な事でも失敗してしまう事
- (2) 悪い事があつたうえに、更に悪い事が起きる喩え

姫路瑞希・琴吹紬の答え

- (1) 弘法も筆の誤り
- (2) 泣きつ面に蜂

吉井明久・中野梓の答え

- (1) 河童の川流れ
- (2) 踏んだり蹴ったり

平沢唯・秋山澪の答え

- (1) 猿も木から落ちる
- (2) 弱り目に祟り目

教師のコメント

正解です。Aクラスレベルには簡単な問題でしたね。

田井中律の答え

(1) 猿も木から蹴り落とす

(2) 泣きつ面蹴ったり

教師のコメント

あなたは鬼ですか。

土屋康太の答え

(1) 弘法の川流れ

教師のコメント

シユールな光景ですね。

島田美波の答え

(1) アキの女装姿に猿も木から落ちるほど可愛い

(2) アキのメイド姿でご奉仕

教師のコメント

あなたも吉井君ですか。いったい吉井君は何人の女子から好意を持たれているのでしょうか(泣)

平沢唯・秋山澪・田井中律・琴吹紬・中野梓のコメント

島田さんあなたもなの？私達の敵よ！！絶対負けないから。

バカテスト 第2問（後書き）

次回は何を投稿するのか案が浮かばないので間がかなりあくと思います。感想やバカテストのアイデア作品への要望やアドバイスなどお待ちしております。

第1話 試召戦争編 開幕（前書き）

書きあがったので投稿します。小説を創るのは疲れますね。気がついたらこんな時間になっていました。

第1話 試召戦争編 開幕

西村 「吉井 おはよう」

玄関で呼び止められる。

声のした方を見ると、そこには、浅黒い肌をした短髪のいかにもスポーツマン然とした男が立っていた。

明久 「あ、西村先生。おはようございます」

軽く頭を下げて挨拶をする。 なにせ相手は教師だ礼儀をはらわな
いといけない。

西村 「吉井、受け取れ。」

先生が箱から封筒を取り出し、僕に差し出してくる。 宛て名の欄に
は『吉井明久』と、大きく僕の名前が書いてあった。

明久 「受け取らなくても結果はわかっていますから。」

西村 「一応は規則なんだな。渡しておかないとな。残念だったな。
テストを受けていれば学年主席どころか教師並みの成績だったのに
な」

吉井 「それでも姫路さんを放っておくことはできませんでした。」

西村 「一応再試験ということで講義したんだがな。試験担当教師
と学園長だけが認めなかった。規則は規則だといってな」

吉井 「先生のその気持ちだけでもうれしいです。」

西村 「そうか。来年は頑張ってくれよ。」

明久 「はい。では、Fクラスに行きます。失礼します。西村先生」

そうして明久はFクラスに向かった。

それから少ししてあの5人が来た。

唯 「おはよう、西村先生」

漣・ムギ・梓 「おはようございます。西村先生。」

律 「おはよう。鉄人先生。」

西村 「おはよう。田井中俺の名前は鉄人ではないぞ。」

田井中 「それはすいません。鉄村先生。」

西村 「田井中！鉄人と俺の名前を合わせて斬新な名字を作るな！俺の名前は西村だ。」

ポコっという音が響いた。

田井中 「痛いじゃないですか。西人先生。」

西村 「もう一発殴られたいみたいだな。」

唯・漣・ムギ・梓 「すみません。西村先生」

西村 「田井中は後で補修だ。振り分け試験の結果だ。しかし、俺も長年教師をしてきたが、全教科名前なしの答えは初めて見たぞ。」

唯 「あれ？名前書いていませんでした？」

漣 「名前を書いたはずですが。」

ムギ 「私も書いたと思います。」

西村 「俺は誰がとは言っていないぞ。やはりわざとだったのか。狙いは何だ？4人はAクラスに入れたはずだが。」

唯 「ナイトのいないAクラスは意味がありません。」

漣 「旦那様のいないAクラスには興味がありません。」

ムギ 「明久様と同じクラスがいいんです。」

梓 「アキ様のいるクラスじゃないと意味がないです。」

西村 「吉井が憎い位に好感をもたれているな。田井中はFクラスが当たり前だな。」

田井中 「ちょっと待って下さい。私がFクラスなのは常識なのですか！？」

西村 「お前が馬鹿なのは、去年からのことからだろ。もういい早くクラスに行け。」

5人 「では失礼します。西村先生（西村鉄人）」

西村 「田井中は放課後補習室まで来い。」

こうして5人はFクラスに向かった。

第1話 試召戦争編 開幕（後書き）

いかがでしたでしょうか？次回はバカテストを予定しています。作品に対する感想やアドバイス、バカテストのアイデアなどお待ちしております。

バカテスト 第3問（前書き）

バカテスト考えるのが大変ですね。ネタが浮かびません。バカテストのアイディアを心からお待ちしています。

バカテスト 第3問

問題 第二問 化学

『調理の為に火にかける鍋を制作する際、重量が軽いのでマグネシウムを材料に選んだのだが、調理を始めると問題が発生した。このときの問題とマグネシウムの代わりに用いるべき合金の例を1つあげなさい』

姫路瑞希・吉井明久・中野梓・秋山澪・琴吹紬の答え

『問題点……マグネシウムは炎にかけると、激しく酸素と反応するため危険であるという点』

合金の例……ジュラルミン』

教師のコメント

正解です。合金なので鉄ではダメと言うひっかけ問題なのですが、皆さんは引っかかりませんでしたね。

平沢唯の答え

『問題点……マグネシウムは炎にかけると、激しく酸素と反応するため危険であるという点』

合金の例……鉄』

教師のコメント

問題点は正解なのですが、合金の例なので鉄では不正解です。

土屋康太の答え

『問題点……ガス代を払ってなかった事』

教師のコメント

そこは問題じゃありません。

田井中律の答え

『合金の例……未来合金（すごく強い）』

教師のコメント

すごく強いと言われても

木下秀吉の答え

『問題点……明久と私が熱々のカップルという点

合金の例……私の演劇魂』

教師のコメント

問題点、合金の例共に間違っています。合金に関してはどつやった

ら作れるのでしょうか？

問題点に関しては木下さんと吉井君はお付き合いしているのですか？

あなたも吉井君ですか。彼はいつたい何人の女性から好かれているのでしょうか？

平沢唯・秋山澪・田井中律・琴吹紬・中野梓のコメント

木下さんあなたもなの？私達の敵よ！！絶対負けないから。

木下秀吉のコメント

それは私のセリフよ。明久は私のだもの。

島田美波の答え

『問題点……鍋を創ったこと。』

合金の例……アキに対するうちの愛で作る合金』

教師のコメント

問題点、合金の例共に間違っています。合金に関してはどつやっただけで作れるのでしょうか？

平沢唯・秋山澪・田井中律・琴吹紬・中野梓のコメント

島田さん彼のことはあきらめてよ。

島田美波のコメント

無理よ。うちとアキは一緒に添い遂げるのだから。

バカテスト 第3問（後書き）

次回はFクラスでの自己紹介になると思います。次回の更新は水曜日になると思います。なぜなら作者が火曜日までテストなものですから。感想、作品への要望等お待ちしております。

第2話 試召戦争編 自己紹介(前書き)

テストが終わったので、投稿を再開します。

第2話 試召戦争編 自己紹介

2年Fクラス 初日のHR

福原 「おはようございます。Fクラスの担任を務めます……」

担任らしい教師は、薄汚れた黒板に視線をやり手を伸ばそうとして……視線を皆の方に戻した。

福原 「福原慎です。よろしく願います。」

明久 「……チヨークすらまともじゃないんですか？ 良く見たら黒板消しもないんですか（汗）」

福原 「後で申請しておきますので、授業には間に合っはずです。」

全員が改めて、ここが最悪の環境であることを実感した。

福原 「皆さん全員に、卓袱台と座布団は支給されてますか？ 不備があれば、申し出てください」

不備という言葉に、全員がありますと言わんばかりに名乗り出た。

モブ1 「俺の座布団、綿が入ってないんですけど」

福原 「我慢してください。」

モブ2 「俺の卓袱台、脚が折れてます。」

福原 「木工ボンドが支給されてるので、後で自分で直してください。」

モブ3 「窓が割れてて、隙間風が寒いんですけど。」

福原 「ビニール袋とセロハンテープを申請しておきますので、後で直してください。」

1つ1つの質問を丁寧に応えていく福原教諭。

しかし大半が大きく分けて“我慢してください”か、“自分で何とかしてください”の2択のみ。

学力最低クラスのFクラスの教室である。

福原 「必要なものがあつたら、極力自分で調達する様にしてください。」

明久 「これがFクラスですか……」

福原 「そういう事です。これがこの学園の方針ですから、不満があるならしつかり勉強して来るべき試召戦争に勝ちあがってください。それでは、自己紹介をお願いします。そうですね、廊下側の人からお願いします。」

と言われ、まずは廊下側の一番最後に座っている秀吉が立ち上がった。

「木下秀吉です。演劇部に所属しています。今年1年間、よろしく願います。」

彼女にしたいランキング上位にランクインしている。しかし、告白されても明久一筋なため告白を全て断っている。

ムツツリーニ 「……土屋康太」

次にムツツリーニ事、本名土屋康太。

本名は知られておらず、異名であるムツツリーニの名は割と知られている存在である。

美波 「島田美波です。海外育ちで日本語は会話ができるけど、読み書きが苦手です。あ、でも英語はそこそこできます。育ちはドイツだったので。趣味は……」

一旦区切り、明久をちらりと見てから一言。

「吉井明久です。」

ほぼ全員が明久に対してカッターを構えるが、明久は畳を全力で殴り威嚇した。

畳がボコツと凹んだ。

畳を壊した明久を見て構えた全員が萎縮してしまった。

全員が本能で察知し、逆らわないことを誓った。

次は明久の番となり、軽く咳ばらいをした。

明久 「吉井明久です。Fクラスにいますが、去年は学年主席でした。一年間よろしくお願ひします。」

モブ達「何ー！！！！！！！！」

モブ1 「何故Fクラスに？」

明久 「振り分け試験を途中退席したので……」

モブ達 「なるほど。」

そうして次の人の自己紹介が始まる。

唯 「平沢唯です。好きなものは美味しいお菓子とナイト（明久）です。一年間よろしく」

モブ達「うおおおお。女子だ。今年のFクラスは女子が多くて万歳だな。」

漣 「秋山漣です。好きなものはかわいいぬいぐるみです。一年間よろしくおねがひします。」

モブ1 「秋山さん俺と付き合っして下さい。」

モブ2 「抜け駆けするな。俺と結婚して下さい。」

漣 「ごめんなさい。旦那様がいるから無理です。」

漣は顔を赤くしながら言った。

モブ達「そんな（泣）」

律「田井中律だ。好きな人はアッキーだ。一年間よろしく。」

モブ達「またしても吉井か。羨ましすぎる。」

ムギ「琴吹紬です。明久様とは婚約者なのでよろしくお願いします。一年間よろしくお願いします。」

モブ達「吉井はギャルゲの主人公だな（泣）」

梓「中野梓です。アキ様と結ばれるのは私です。一年間よろしくお願いします。」

モブ達「吉井もてる秘訣は何だ？」

明久「秘訣って言われても…（汗）」

ガラッ！

瑞希「あの、遅れて、すいま、せん……」

モブ達「えっ？」

そこへ、息を切らせて胸に手を当てている女子生徒が現れた。

その姿に、男子生徒全員が意外を通り越したかのように驚いた声がかかる。

福原「ちようどです。今自己紹介をしているところなので、姫路

さんをお願いします。」

瑞希 「は、はい！ あの、姫路瑞希と言います。よろしくお願
いします！」

途中から尻すばみな自己紹介を終えて、小柄な体を縮み込ませた。

モブ1 「はいっ、質問です！」

瑞希 「あ、はいっ。なんですか？」

モブ1 「何でここにいますか？」

傍から見れば失礼な質問ではあったが、ほぼ全員（明久と唯達を除く）がそう思っていた事だった。

彼女は容姿も人目を引く程で、テストでは1ケタの順位に必ず名を
連ねている学力の持ち主でもある。

当然こんな場所に来るべき人間ではなく、最高設備であるAクラス
に入っている物と誰もが思う事。

だからこそ、この質問はある意味必然なものだった。

瑞希 「そ、その……振り分け試験の最中、高熱を出してしまいま
して……」

AからFまでのクラス分けは、学年末に行われる振り分け試験で決
まる。

その試験は難しいという評判だが、途中退席は0点扱いにされると
いう厳しいテストである。

モブ2 「そういえば、俺も熱（の問題）が出たせいでFクラスに」

モブ3 「ああ、化学だろ？ あれは難しかったな」

瑞希の言い分を聞いて、1人がそう言いだした。

それを皮切りにざわつき始め、次の言い訳が飛び交う。

モブ1 「俺は弟が事故に遭ったと聞いて、実力を出し切れなくて」

モブ4 「黙れ1人っ子」

モブ2 「前の番、彼女が寝かせてくれなくて」

モブ3 「今年一番の大嘘をありがとう」

その様子を見て、明久は一言。

「……想像以上にバカが多いな」

それを聞いて、女子はうんうんと頷いた。

瑞希「で、ではっ、今年1年よろしくお願いします！」

瑞希は逃げるように、明久と雄二の間の空いてる席に着いた。

彼女は席に着くや否や、安堵の息をついて卓袱台に突っ伏してしま

う。

その姿に光一は明久に目配せをして、あの事を聞くことにしたと意思表示。

明久 「瑞希、体調は大丈夫？」

瑞希 「よ、吉井君!？」

明久の顔を見て、瑞希が驚いた。

明久 「瑞希？僕何かした？」

瑞希 「いえ、いきなりなので少し驚いただけです。」

雄二 「俺も話に入っただけか？」

そこへ雄二が話かけてきた。

瑞希 「いいですよ……えっと？」

雄二 「坂本だ、坂本雄二。体調の方は大丈夫か？」

瑞希 「はい。おかげさまですっかりよくなりました。」

雄二 「それは良かった。そういえば、俺の知人にも明久に興味がある奴が居た気がする。」

雄二のその言葉で明久は嬉しそうに、瑞希は驚いた。

明久「え？ それは……」

瑞希・美波・秀吉・唯・漣・律・ムギ・梓 「それって一体誰ですか!？」

明久の声を遮るかのように、女子が声を荒げた。

それも必死そうな表情のオマケつきで。

雄二 「とりあえず、落ち着け。姫路身体に障るぞ？ しかし、全員随分と必死だね？」

「え？ そっそれは……」

明久 「皆も色恋沙汰には結構敏感なんだ？」

瑞希・美波・秀吉・唯・漣・律・ムギ・梓 「そっその……はい。やっぱり恋をするって素敵な事だと思いますから、つい力が入ってしまっ」

明久が微笑ましそうに女子を見て居る傍らで、雄二は半ば呆れたように明久を見ていた。

明久 「ねえ雄二、話の続き聞かせてよ？」

雄二「そうだな。確か、木下……優子だったか？」

木下優子 性別（ノメス）

現在Aクラス所属

雄二「良かったな明久。いったい何人の女子から好意をもたれてるんだ？」

明久「雄二。教えてくれてありがとう。僕にも解らないよ。」

パンパン！

福原「はいはい。その人たち、静かに」

バキィッ！ パラパラパラ……

福原「してください……ね？」

本人としては、軽くたたいたつもりだろう。

だが、壊してしまった事は事実の為、少々気まずそうな態度に。

福原「え〜。代えを持ってきますので、皆さんは自習をしてくださいね」

明久「どれだけ酷い設備なんですか!？」

福原「これがFクラスです」

福原教諭の台詞に、何度目かの改めて設備のひどさを理解させられる面々だった。

明久「うん……ねえ雄二、ちょっと良い？」

雄二「おう。」

明久は雄二を伴い、廊下へ。

瑞希が怪訝そうな顔をして見送り、唯達に問いかけた。

瑞希「吉井君と坂本君、どうしたんでしょうか？」

唯「さあ？私は解らないよ」ナイトのこと気になるの？」

瑞希「え？いつ、いえ、そういうわけでは……」

唯・漣・律・ムギ・梓「まさか姫路さんもナイト（旦那様）（アツキー）（明久様）（アキ様）のことを好きなの？」

瑞希「はい。私は明久くんのが大好きです。」

唯・漣・律・ムギ・梓「姫路さん絶対に負けないから。」

瑞希「私だって負けません。小学校のときから好きだったんですから。」

そんな話をしているとき明久と雄二は廊下でこんな話をしていた。

雄二「話はなんだ？」

明久「教室設備の事なんだけどね……」

雄二「酷いな…俺もさすがにここまでとは思わなかった」

明久 「だよ、Aクラスの設備を見た？」

雄二 「凄かったな、あんな教室見たことないな」

明久 「そこで、提案なんだけど、2年になった事だし、試召戦争をやってみない？」

雄二 「戦争だと？」

明久 「うん。Aクラス相手にね」

雄二 「姫路と、平沢達か？」

明久 「うん。皆はちゃんとした設備で受けるべきだと思う」

雄二 「…明久がやる気なら俺は反対しない。ちょうど俺もAクラス相手に戦争を仕掛けようと思っていたところだ」

雄二は初めからAクラスに戦争を仕掛けるつもりだったんだ？でもなんでだろ？

雄二 「明久、俺はな、幼馴染の誤解を解くために、Aクラスに試召戦争を仕掛ける。それが理由だ。」

明久 「そうなんだ」

雄二 「ああ、っと先生が戻ってきた。教室に入ろう明久」

明久 「うん」

雄二と僕は教室に入った。

福原 「では続きをお願いします」

先生はHRの続きを進める。

自己紹介は進んでいき、先生が「では最後にクラス代表の坂本君、
お願いします。」

雄二 「了解」

坂本君は前にたち、全員を見て…

雄二 「Fクラス代表、坂本雄二だ。代表でも坂本でも好きに呼んでくれて構わない」

雄二はまたしばらく黙ってから「皆に聞きたい事がある」と言って
クラス全体を見回す。

雄二 「Aクラスは冷暖房完備の上、座席はリクライニングシート
らしい」

呼吸おいて、告げた。

雄二 「不満はないか？」

Fクラス男子全員（明久と雄二を除く） 「大ありじゃあつ ！！」

モブ1 「いくら学費が安いからと言って、この設備はあんまりだ
！改善を要求する！」

モブ2 「そもそもAクラスだって同じ学費だろ？あまりに差が大きすぎる！」

雄一 「みんなの意見はもっともだ。そこで」

雄二はなんか不敵な笑みを浮かべ、

雄一「これは代表としての提案だが」

また、一拍おいて引き金に手をかけた・・・

雄一「 FクラスはAクラスに『試召戦争』を仕掛けようと思う」

クラス代表、坂本雄二は戦争の引き金を引いた。

第2話 試召戦争編 自己紹介（後書き）

いかがでしたでしょうか？原作と似ているような気がします。原作ブレイクしていけるように頑張っていきますので応援よろしくお願ひします。感想や評価ポイント、作品に対するアドバイスや要望、バカテストのアイディアなどお待ちしております。感想が少ないと作者の創作意欲がなくなるのでよろしくお願ひします。

バカテスト 第4問（前書き）

スランプです。バカテストが考えつきません。

バカテスト 第4問

問題 第四問 数学

以下の問いに答えなさい

(1) $4 \sin X + 3 \cos 3X = 2$ の方程式を満たし、かつ第一象限に存在する X の値を1つ答えなさい。

(2) $\sin(A+B)$ と等しい式を示すのは次のどれか、?の中から選びなさい

1 $\sin A + \cos B$ 2 $\sin A - \cos B$ 3 $\sin A \cos B$ 4 $\sin A \cos B + \cos A \sin B$

姫路瑞希・吉井明久・平沢唯・秋山澪・琴吹紬・中野梓の答え

(1) $X = \frac{\pi}{6}$

(2) 4

教師のコメント

角度を『 $^{\circ}$ 』ではなく、『 $^{\circ}$ 』で書いてありますし、正解です。

土屋康太の答え

(1) $X = \text{およそ } 3$

教師のコメント

およそをつけてごまかしたい気持ちもわかりますが、これでは回答に近くても点数はあげられません。

田井中律の答え

(2) およそ2

教師のコメント

先生は今までたくさんの生徒を見てきましたが、選択問題でおよそを着ける生徒は君が初めてです。

バカテスト 第4問（後書き）

ほぼ原作のバカテストになってしまいました。文才があればいいのに（汗）

第3話 試召戦争編 戦力はどのくらい？（前書き）

連続投稿はきついですね。さて今回は雄二がクラスを動かします。
ではごいそ。

第3話 試召戦争編 戦力はどのくらい？

雄二 「Fクラスは、Aクラスに“試験召喚戦争”を仕掛けようと思う。」

壇上に自己紹介の為立った筈の雄二の、いきなりの提案。

それに対し、クラスメイト達は当然否定的な意見の嵐を巻き起こした。

モブ1 「勝てるわけがない！」

モブ2 「これ以上設備が落とされるなんて嫌だ！」

モブ3 「姫路さんが居たら何もいらない！」

モブ4 「中野さんと結婚したい！」

モブ5 「平沢さんの手料理をが毎日食べたい！」

バカなFクラスが、学年トップのAに戦争を仕掛ける。

試召戦争は負ければ設備を1ランク落とされるのだから、更に最低になる事を考えれば自殺行為に当たるし、非難の嵐が吹き荒れるのは当然である。

後半は自分達の願望であるが、それは叶わない。

だが雄二は、その非難の嵐に怯む事もなく、代表らしい堂々とした

姿を崩す姿勢が見られない。

ある程度治まり、不敵な笑みを浮かべ口を開く。

雄二 「皆がそう思うのも無理はない。だがこのクラスには、勝てる要素が揃っているからこそその提案だ。今からそれを説明してやる」

自信に満ちたその発言に、クラスはしんと静まった。

不敵な笑みを崩さないまま、雄二はある個所に視線を向けた。

雄二 「おい、康太。いつまでも姫路や平沢達のスカートの中をのぞいてないで、前に出てこい。」

ムツツリーニ 「……………！！（ブンブン）」

瑞希 「は、はわっ！」

堂々と覗いていたにもかかわらず、必死に顔と手を振って否定し始める少年。

顔に付いた明らかな畳の痕を隠しつつ、前に出ていく。

雄二 「紹介しよう。こいつがあ有名なムツツリーニだ」

ムツツリーニ 「……………！！（ブンブン）」

ムツツリーニと言つ名に、クラスがざわめいた。

その名は男子から畏怖と畏敬を、女子からは軽蔑を持ってあげられ

ており、その正体は謎。

……とされていた人物が、目の前にいる。

モブ3「バカな、奴がそうだと言っのか？」

モブ1「だが見る、いまだ必死に手で押さえて隠そうとしてるぞ？」

モブ4「ああ、ムツツリの名に恥じない姿だ」

瑞希と唯だけは頭に疑問符を浮かべていた。

雄二「姫路の事は説明するまでもないだろう。皆だってその力は知ってるはずだ」

瑞希「えっ？ わっ、私ですかっ!？」

雄二「ああ、主戦力だ。期待している」

その容姿と共に知られている彼女の成績を考えれば、もっともな話である。

モブ2「そうだ、俺達には姫路さんが居るんだっ!」

モブ3「彼女なら、Aクラスにも引けを取らない」

モブ1「ああ。彼女が居れば何もいらぬ」

雄二「木下秀吉だっているし、俺も当然全力を尽くす。」

次に、学力ではあまり聞かない物の、優等生である双子の姉と演劇部のホープという要素で有名な人物。そして自身もまた、代表として名乗りを上げた。

モブ2 「坂本って、神童とか呼ばれてなかったか？」

モブ3 「それじゃあ、実力はAクラスレベルが2人も居るってことかよ？ もしかしたら、やれるんじゃないか？」

モブ6 「ああ、なんかやれそうな気がしてきた！」

士気は確実に上がっていき、ほぼ全員やる気が出始めて来た。

そこへ雄二の一言

雄二「それと、吉井明久と平沢唯と秋山澪と田井中律と琴吹紬と中野梓が居るんだ。」

歓声が教室内に響いた。

モブ3 「吉井って……あの学園主席どころか教師レベルって話の！？」

モブ5 「ああ。学園から教師にならないかってスカウトが来てるって話だろ？」

モブ4 「平沢さん達はAクラスレベルの学力だからな。」

モブ1 「けど、田井中律って誰だ？ 聞いたことがないんだが？」

先ほどとは違う意味でざわめき始めた。

律 「ちよつと坂本！ どうしてそこで全く関係ない私の名前を呼ぶの！？」

雄二 「明久達の事は知っているみたいだから良いとして、田井中を知らないなら教えてやる。こいつは学年最下位だ。」

モブ2 「……それって、戦争で使えないってこと？」

誰かのその発言は、律の心に深く突き刺さった。

律 「ちつ違つよっ！ 学年最下位は坂本だよ。」

雄二 「俺は点数を調整してFクラスの代表になったんだ。田井中がいるが、ハンデにはちよつどいい。」

律 「自分から降つておいて、そのセリフはないんじゃない！？」

漣 「まあ落ち着け律。これから挽回すれば良いだろ？」

漣になだめられ、一先ずはと席に着く律。

それに構つ事なく、力強く演説し、自信満々に言った。

雄二「とにかくだ！ 俺達の力の証明として、まずはDクラスを倒す。皆、この境遇は大いに不満だろう！？」

モブ達 「当然だ！」

雄二 「ならば全員筆を執れ！ 出陣の準備だ！」

モブ達 「おおーっ！！！」

雄二 「俺たちに必要なのは、卓袱台ではない！ Aクラスのシステムデスクだ！」

モブ達 「うおおーっ！！！」

美波・瑞希・唯・澪・律・ムギ・梓「お、おー……」

雰囲気を押され、瑞希達も懸命さが見て取れるように小さく拳をふりあげる。

その姿に明久が和んでる所に、雄二の一言。

雄二 「田井中には、Dクラスへの宣戦布告の為の死者になって貰う。無事大役を果たせ！」

律 「……下位勢力の宣戦布告の使者って、大抵酷い目に遭うよね？ しかも今字が違わなかった？」

雄二 「大丈夫だ、騙されたと思って行ってみる。俺は友人を騙す事はしない」

律 「わかったよ、それなら使者は私がやる」

下位勢力との試召戦争など、面倒でしかない。

だからこそ、そんな面倒事を持ってくる奴に危害を加えない訳がな

いだろっ。

結局雰囲気の流れ、律は意気揚々と出ていった。

ある程度時間がたったところで、雄二が一言。

雄二 「とまあ、ああいうバカだ。皆も危なくなったら、あいつを
囮にしてさっさと逃げるように。」

明久 「やっぱり……仕方ない。僕も行ってくる。」

雄二 「お前も物好きだな。」

明久 「雄二が酷過ぎるだけだよ。」

数分後

律 「騙されたあつ!!」

そのしばらくの後、律が教室に転がり込んできた。

Dクラスに掴みかかれ、ぼろぼろになった姿を見た雄二は一言。

雄二 「やはりそう来たか」

律 「やはりって何だよ!? 使者への暴行は予想通りだったんじゃないか! 明久が来てくれなかったら、今頃どうなってたと思ってるの!？」

雄二 「それ位予想できないで、代表が務まる訳ないだろ」

律 「少しは悪びれてよ!!」

明久 「まあ落ち着いてよ。雄二も酷すぎるよ。律に謝ってよ。」

そこへ明久が戻ってきて、律を宥めた。

律と違い無傷のその姿に、雄二は一言。

雄二 「さすが明久だな。」

雄二 「これは思わぬ収穫だな。生贄ではなく、お前を行かせるべきだったか？」

律 「生贄って言った!? 今生贄って言ったね!!?」

内容を考えたら、当然である。

雄二 「そんな事より、今からミーティング行つぞ?」

と言う雄二の言葉に従い、主要メンバーは屋上へ。

そして、屋上にて。

雄二 「で、田井中。時間は伝えたのか?」

律 「うん。今日の午後からって伝えといた。だから先にお昼ご飯だね?」

秀吉「気になっていったんだけど、なぜDクラスなの？」

まず真つ先に、秀吉が疑念をぶつけた。

それもそのはず、段階を踏んでいくならEクラスが妥当であり、目的はAクラス。

雄二「簡単だ。明久達に問題がない今、Eクラスなら正攻法でも勝てるが、Dクラスは難しい。それに初陣だから派手にやって景気つきたいし、Aクラス攻略の為に必要な要素がDクラスにはある」

明久「成程。つまりこれは、最初のステップってわけだな？」

雄二「ああ。ここにいるメンバーは最強だ、お前達が俺を信じて協力してくれるなら勝てる！」

雄二の確信した表情による言葉に、全員が頷いた。

雄二「代表として、頼りにさせてもらうぞ。田井中以外！」

律「ひどい!!--」

Dクラス VS Fクラス

今年度初の試験召喚戦争が、幕を開ける。

学園長「ほおつ、今年の2年は1学期初日から試召戦争やろうつてのかい？面白いじゃないか、承認してやりな。」

高橋「承知いたしました。」

学園長 「さて、どうなるかね？ 見せて貰おうじゃ……ん？ F
クラスと言えば、吉井達が居るクラスかい？」

高橋 「はい。吉井明久、坂本雄二、平沢唯、秋山澪、琴吹紬、中
野梓、姫路瑞希がいるクラスです。」

学園長 「そうかい。それはますます面白そうじゃないか……見せ
てもらおうよ。吉井。」

第3話 試召戦争編 戦力はどのくらい？（後書き）

けいおんから律しか出せてない。次回は唯達も必ず出しますのでご勘弁を。次回はバカテスト？かな？作者はバカテストを考えつかないのでアイディアをお待ちしています。

バカテスト 第5問（前書き）

バカテスト投稿。今日の更新はラスト？

バカテスト 第5問

問題 第五問 英語

以下の英文を訳しなさい

「 This is the bookshelf that my
grandmother had used regularly .

「 姫路瑞希・吉井明久・島田美波・平沢唯・秋山澪・琴吹紬・中野梓
の答え

「 これは私の祖母が愛用していた本棚です。 」

教師のコメント

正解です。きちんと勉強していますね。

土屋康太の答え

「 これは 」

教師のコメント

訳せたのは This だけですか。

田井中律の答え

「 * 「 」

教師のコメント

地球上の言語で書いてください。

木下秀吉の答え

「私が愛しているのは明久だけです。」

教師のコメント

吉井君が好きなのは解りましたが、不正解です。

平沢唯・秋山澪・田井中律・琴吹紬・中野梓のコメント

私達ももっと積極的に行かないと…

バカテスト 第5問（後書き）

今回はDクラスVS Fクラスの予定です。感想等お待ちしております。

第4話 試召戦争編 Fクラス VS Dクラス 前編(前書き)

戦闘シーンぐうまく書けない。どうしよう？まだBクラスやらAクラスもあるのに(汗)では本編をどうぞ。

第4話 試召戦争編 Fクラス VS Dクラス 前編

美波 「アキ！ 木下達がDクラスの連中と渡り廊下で交戦状態に入ったわよ！」

ポニーテールを揺らしながら駆けてきたのは同じ部隊に配属された美波。こうして改めて見ると、背は高くて細い脚も綺麗だ。

現在前線にいるのは秀吉が部隊長の前線部隊。そして僕が率いる中堅部隊。僕が部隊長だ。

西村 「さあ来い！ この負け犬が！」

Dモブ1 「鉄人！？ 嫌だ！ 誰かたす
！」

イヤアアア！

……よし、試験召喚戦争の雰囲気は分かった。

明久「美波、中堅部隊全員に通達」

美波 「作戦？ なんて伝えるの？」

明久 「総員突撃！」

美波 「了解。」

美波 「総員突撃よ。」

美波達が突っ込んでいく。

美春「あっ、そこにいるのはFクラス的美波お姉さま！ 五十嵐先生、こっちに来てください！」

美波「くっ！ 抜かったわ！」

遅れて追いかけると、島田さんがDクラスの一人に見つかっていた。

Fクラスでは女子は少ないし簡単に見つかっちゃうよね。

美春「お姉さま！ 逃がしません！」

美波「くっ、美春！ やるしかないってことね……！」

………なんだか、妙に緊迫してて入るタイミングを逸してしまった。

美波・美春「試獣召喚！」

二人がお互いに召喚獣を呼び出して相對する。

Fクラス 島田 美波 VS Dクラス 清水 美春

化学 53点 VS 94点

美春「お姉さまに捨てられて以来、美春はこの日を一日千秋の思いで待っていました……！」

美波「ちよつと！ いい加減ウチのことは諦めてよ！。ウチにはアキがいるんだから。」

……美波、お姉さまって？

美春「嘘です！ お姉さまは美春のことを愛しているはずですよ！
そして私は明久お兄様のことを愛しています。」

美波「このわからずや！」

明久「試獣召喚！」

Fクラス 吉井 明久 化学 894点

明久「ごめん。清水さん。」

Fクラス 吉井 明久 VS Dクラス 清水 美春

化学 894点 VS 0点

一撃で清水さんを戦死させた。

美春「お兄様酷いです。放課後デートして下さいね。」

明久「了解。」

美波「アキ。ウチも行くからね。」

西村「戦死者は補習！」

美春「いやあ。助けて下さい。お兄様とお姉さま。」

明久・美波「ごめん。清水さん（美春）」

こうして美春は補習室に連行された。

明久 「美波。点数を補給してくるんだ。」

美波 「分かったわ。アキ。」

美波は補給試験を受けるためFクラスへ向かった。

明久 「とにかく！ 秀吉達が補充をしている間、前線を維持するんだ！ 一步も進ませないように！」

怒号が響くなかで大声を張り上げる。

D 指揮官 「前線さえ突破すればこっちのもの！ 一気に攻め落とす！」

相手も負けずに指示を出してくる。

向こうも必死。とにかくやるしかない！！

モブ3 「吉井隊長！ モブ0がやられた！ これで布施先生側は残り二人だ！」

モブ7 「五十嵐先生側の通路だが、現在俺一人しかない！ 援軍を頼む！」

モブ6 「モブ9の召喚獣がやられそうだ！ 助けてやってくれ！」

こちらは劣勢だ！

明久 「布施先生側の人達は防御に専念！ 五十嵐先生側の人には総合科目の人と交代！ モブ9は僕が助ける！」

モブ達 「了解！」

僕の指示にしたがって動き出す。 さて僕は……………

明久 「高橋先生！ Fクラス吉井明久がモブ9に代わって受けます！ 試験獣喚！」

Fクラス 吉井明久 VS Dクラス モブ1

総合科目 9756点 VS 1589点

Dモブ達「何!?!」

Dモブ2 「馬鹿な!?! Fクラスの奴がそんな点数を!?!」

Dモブ3 「モブ2俺達も加勢するぞ。」

Dモブ2 / 3 「試験獣喚！」

D モブ2 / 3 総合科目 1496点 1531点

明久 「いけええええ!!」

Fクラス 吉井明久 VS Dクラス モブ1 / 2 / 3

総合科目 9756点 VS 0点 0点 0点

一撃で3人を倒した。

僕の手を見せた！　ここで相手の指揮官を倒す！！

明久「高橋先生！　Fクラス吉井明久がDクラス指揮官に試験召喚勝負を挑みます！」

D　指揮官「ちくしよ！　試獣召喚！」

D　指揮官は悔しそうにしながらも召喚に応じた。

Fクラス吉井明久　VS　Dクラス　指揮官

総合科目　9756点　VS　1674点

D　指揮官「くそおお！！！」

D　指揮官ががむしゃらに召喚獣で突っ込んできた。単純な動きなので、避ける。

すれ違い様に刀で斬る。

Fクラス　吉井明久　VS　Dクラス指揮官

総合科目　9756点　VS　0点

明久　「Dクラス指揮官、吉井明久が討ち取ったり！！！」

大声で勝ち名乗りをあげる。

Dモブ5 「なに!?!」

Dモブ4 「馬鹿な!?!」

相手は動揺して、

モブ1 「うおおー!」

モブ2 「いくぞ!?!」

味方は士気をさらに上げた。

第4話 試召戦争編 Fクラス VS Dクラス 前編（後書き）

美春と明久のフラグ成立？作者自身も驚いています。次回はバカテ
ストかな？感想等お待ちしております。

バカテスト 第6問(前書き)

感想や評価などの応援ありがとうございます。気がついたらPV
16000越えをしていて驚きました。ではバカテストスタート。

バカテスト 第6問

問題 第六問 物理

問 以下の文章の（ ）に正しい言葉を入れなさい。

光は波であつて、（ ）である。

姫路瑞希・吉井明久・平沢唯・秋山澪・琴吹紬・中野梓の答え

粒子

教師のコメント

正解です。皆さんには簡単でしたね。

土屋康太の答え

寄せては返すの

教師のコメント

君の解答はいつも先生の度肝を抜きます。

田井中律の答え

勇者の武器

教師のコメント

先生もRPGは好きです。

島田美波の答え

ウチの大好きなアキの笑顔を連想させるもの。

教師のコメント

問題の答えとしては不正解ですが、吉井君のことを女たらしと思えるようになりました。

木下秀吉の答え

明久を愛したいと思う気持ち

教師のコメント

問題の答えとしては不正解ですが、吉井君はいつたいどれだけの女性に好かれているのでしょうか？

平沢唯・秋山澪・田井中律・琴吹紬・中野梓のコメント

私達はどうぞすればいいの？神様教えて下さい！！！！！！！！！！

バカテスト 第6問（後書き）

皆さんに質問ですが、Dクラス戦が終わった後、美春&美波のデー
トは書いた方がいいのでしょうか？感想に書いて頂けるとうれしい
です。期限は明日の正午までとさせていただきます。

第5話 試召戦争編 Fクラス VS Dクラス 後編(前書き)

すいません。今回はかなり短いです。そのかわり、美波&美春のデートを頑張りますので、勘弁して下さい。

第5話 試召戦争編 Fクラス VS Dクラス 後編

指揮官を失ったことに動揺し、Dクラスの攻撃は弱くなった。

僕が一気に四人も補習室送りにしたのを警戒しているようだ。

ここで一気に敵を全滅させる。

明久 「高橋先生。Fクラス吉井明久がそこにいるDクラスの生徒に日本史で挑みます。試験召喚！」

Fクラス 吉井 明久 日本史 1092点

Dモブ達 「何ー！！1000点越えだど！？俺達が勝てるわけない。仕方ない試験召喚！」

Dモブ達 日本史 1874点 (18人)

明久 「腕輪発動！ベクトル操作。相手を300秒動けなくする。」

Dモブ達 「何だと！？勝てるわけがない！？」

明久 「さようなら。」

Fクラス 吉井 明久 日本史 1042点 VS Dモブ 日本史 0点×18

一撃で相手全員を戦死させた。

明久 「このままDクラス代表倒すぞ！」

モブ達 「了解。吉井隊長。」

一気に廊下を走りぬけDクラスの教室まで来た。

明久 「Fクラス吉井明久です。 Dクラス平賀君に現代国語勝負を挑みます！」

「!? ちつ、けどお前じゃ俺は倒せない。」

Fクラス 吉井明久 VS Dクラス 平賀源二

現代国語 851点 VS 130点

平賀 「なにい!?!」

驚いている平賀君。前線部隊から僕について報告を受けていないのかな？

驚いている隙に接近して刀で斬る。

一撃で平賀君は倒し、Fクラスの勝利が確定した。

第5話 試召戦争編 Fクラス VS Dクラス 後編（後書き）

明久の腕輪が最強すぎですね。ベクトル操作はあのアニメから持ってきた。

美波&美春のデートは読みたいという意見が多数なので書くことにします。今から考えますので少々お待ち下さい。感想等お待ちしております。

バカテスト 第7問（前書き）

バカテスト更新。しかし明久はハーレムだよなあ。作者も書いていて羨ましすぎるよ。

バカテスト 第7問

問題 第七問 生物

以下の問いに答えなさい

「人が生きていく上で必要となる5大栄養素をすべて書きなさい。」

姫路瑞希・吉井明久の答え

「1 脂質 2 炭水化物 3 たんぱく質 4 ビタミン 5 ミネラル」

教師のコメント

正解です。特にコメントはありません。

土屋康太の答え

「初潮年齢が十歳未満の時は早発月経という。また、十五歳になっても初潮がない時を遅発月経、更に十八歳になっても所長がない時を原発性無月経といい……」

教師のコメント

保健体育のテストは前に終わりました。

平沢唯の答え

「 1 ナイト 2 ナイトの愛 3 ナイトの手料理 4 ナイトとのH 5 ナイトとの子供」

秋山澗の答え

「 1 旦那様 2 旦那様の愛 3 旦那様の手料理 4 旦那様との営み 5 旦那様との子供」

田井中律の答え

「 1 アッキー 2 アッキーの愛 3 アッキーの手料理 4 アッキーとの夜の営み 5 アッキーとの子供」

琴吹紬の答え

「 1 明久様 2 明久様の愛 3 明久様の手料理 4 明久様とのS X 5 明久様との子供」

中野梓の答え

「 1 アキ様 2 アキ様の愛 3 アキ様の手料理 4 アキ様との交わり 5 アキ様との子供」

教師のコメント

吉井君。あなたの内申点は0点にしておきます。

木下秀吉の答え

「 1 明久 2 明久の愛 3 明久のパエリア 4 明久との

甘い新婚生活 5 明久との結婚式」

教師のコメント

吉井君。あなたはいったいどれだけの女性を惚れさせているのでしょうか？

吉井明久のコメント

分かりません。すみません。

平沢唯・秋山澪・田井中律・琴吹紬・中野梓のコメント

それだけ魅力的なのは良いけど、私達のことを考えてよ（泣）

バカテスト 第7問（後書き）

次回の更新は未定です。何故なら美春と美波のデートが書きあがっていないから。感想等お待ちしています。

第6話 試召戦争編 Fクラス VS Dクラス その後(前書き)

皆様、お待たせしました。美波と美春のデートを書いたので投稿します。皆様の反応が正直不安です。ではどうぞ。

第6話 試召戦争編 Fクラス VS Dクラス その後

Dクラス代表 平賀源二 戦死

モブ達 「やったー!!!!!!!!!!」

Dモブ達 「いやああああー」

その知らせを聞いたFクラスの歓声とDクラスの悲鳴が混じり、大音響が校舎内を響いた。

モブ1 「凄いよ! 本当にDクラスに勝てるなんて!」

モブ4 「これで畳や卓袱台ともおさらばだな!」

モブ7 「ああ。あの設備はDクラスの連中の物になるからな。」

モブ2 「坂本雄二サマサマだな!」

モブ8 「やっぱり代表は凄い奴だったんだな!」

モブ9 「坂本万歳!」

モブ5 「吉井万歳!」

モブ10 「姫路さん、愛しています!」

モブ3 「平沢さん結婚して下さい!」

代表である雄二を褒め称える声があったるところから聞こえてくる。
最後の結婚してくださいはいはなんで？

雄二「ああ、まあ。 何だ。 手放して褒められると、なんつーか」
頬をポリポリと掻きながら明後日の方向を見る雄二。

モブ1 「坂本！ 握手してくれ！」

モブ2 「俺も！」

皆にとって雄二君は英雄だね。 この光景を見るだけでどれだけ皆
が、教室に不満を持っていたのが分かる。

明久 「雄二！」

雄二 「明久」

明久 「おめでとう雄二」

雄二 「ありがとう。 明久のおかげで思ったより早く決着がついた
し、平沢達を使わずにすんだ。」

平賀 「まさか吉井君がFクラスでこれほどの実力だなんて・・・
・・・信じられん」

明久 「ごめん。 平賀君」

平賀 「いや、謝る事はない。 全てはFクラスを甘く見ていた俺
達が悪いんだ。」

平賀 「ルールに則ってクラスを明け渡そう。ただ、今日はこんな時間だから、作業は明日で良いか？」

明久 「その必要はないよね？雄二？」

雄二 「ああ。その必要はない。」

モブ達 「え？ 何で？」

雄二 「Dクラスを奪う気はないからだ。」

モブ達 「坂本、それはどういうことだ？ 折角、普通の設備を手に入れることができるのに」

雄二 「忘れたのか？ 俺達の目標はあくまでもAクラスのはずだろっ？」

律 「何で最初からAクラスにしないの？。おかしいよ。」

雄二 「少しは自分で考えろ。そんなんだから、田井中は近所の中学生に『バカなお姉ちゃん』なんて愛称をつけられるんだ。」

律 「坂本。そんな半端にリアルな嘘をつかないでよ！」

雄二 「おっとすまない。近所の小学生だったか。」

律 「人違いです。」

雄二 「本当に言われたことがあるのか？」

冗談のつもりで言ったのという顔をする。雄二。

雄二 「と、とにかくだな。Dクラスの設備には一切手をだすつもりはない。」

平賀 「それは俺達にはありがたいが………それで良いのか？」

雄二 「もちろん、条件がある。」

平賀 「一応、聞かせてもらおうか」

雄二 「そんな大したことじゃない。Dクラスには3ヶ月間Fクラスの駒になって貰うだけだ。」

平賀 「それだけでいいのか？」

雄二 「そう悪い取引じゃないだろう？」

それだけで三ヶ月のものを期間をあの教室で過ごすという状態から逃げられる。決して悪い取引ではないね。

平賀 「それはこちらとしては願ってもない提案だが、何故、そんなことを？」

平賀君の疑問はもつともだ。

雄二 「これからの戦争に必要なんでな。」

平賀 「そうか。では、こちらはありがたくその提案を吞ませてもらおう。」

雄二 「今日はもう行っていいぞ。」

平賀 「ああ。ありがとう。お前らがAクラスに勝てるよう願っているよ。」

雄二 「ははっ。無理するなよ。勝てっこないと思っているだろ？」

平賀 「それはそうだ。AクラスにFクラスが勝てるわけがない。社交辞令だな」

じゃあ、と手を挙げてDクラス代表、平賀君は去っていった。

雄二 「さて、皆！今日はご苦労だった！明日は消費した点数の補給を行うから、今日のところは帰ってゆっくりと休んでくれ！解散！」

平賀君が去った後、雄二がこちらを向いて号令をかけると、皆は雑談を交えながら自分のクラスへと向かっていった。

美春 「お兄様にお姉さま。約束しましたどつりにデートに行きましよう。」

明久 「分かったよ。美波に清水さん。」

美春 「お兄様。美春と呼んで下さい。」

明久 「み・美春。これでいい？」

美春 「はい」

美波 「美春にアキ。ウチのこと忘れてない？」

明久・美春 「そんなことはない（ありませんわ）」

明久 「何処に行く？」

秀吉 「待つて。明久！どうして私もデートに連れってくれないの？」

明久「だつて。約束してなかつたし・・・」

秀吉 「酷いよ。私も行きたいな（涙目+上目遣い）」

美波 「駄目よ。木下。ウチとアキと美春でデートするんだから」

律 「ちよつと待つた！いつの間にそんな約束したんだ。私だつて行きたい！」

漣 「私だつて旦那様とデートしたい。」

唯 「ナイトとデートしたい〜」

梓 「アキ様とデート行きたいです。」

ムギ 「婚約者である私と明久様はデートをするのは当然です。」

秀吉・美波・美春・唯・漣・律・梓・瑞希 「誰が婚約者ですか！

？（怒）

瑞希 「私だって明久君とデートしたいです。」

女子が自分を巡って争いを始めたのを見た明久は困惑気味になっていて何かを考え始めた。

明久 「今日は美波と美春と出かけるからごめんね。」

秀吉・唯・漣・律・ムギ・梓・瑞希 「そんなあく酷いです。」

明久 「そのかわり皆とは今度出かけるから、ね。」

秀吉・唯・漣・律・ムギ・梓・瑞希 「分かりました。約束ですよ。」

明久 「じゃあ、行こうか。美波。美春。」

美春・美波 「はい。お兄様。（了解、アキ。）」

明久 「皆また明日。」

秀吉・唯・漣・律・ムギ・梓・瑞希 「また明日ね。」

こうして皆と別れた明久達は学校から帰宅する。

明久 「二人とも何処行きたい？」

美波 「映画なんてどう？」

明久 「僕はいいけど、美春はどう?」

美春 「私も良いと思います。」

美波 「映画館に行くわよ。」

美波がそう言つて、腕を組んできた。

美春 「じゃあ、反対側は私が組みます。」

美春も反対側の腕を取り組んだ。

明久 「ねえ、二人とも。腕に柔らかい物が当たってるんだけど。」

美波 「アキのエッチ（上目使い）」

美春 「当ててるんです。お兄様（顔真っ赤）」

明久 「グハ。ダメージが大きい。まあ早く行こう。」

二人とも僕の理性を壊す気なの?

そんなこんなで映画館に到着した三人。

明久 「何の映画にするの?」

美春 「この映画はどうですか?」

そういつて恋愛映画をのポスターを指していた。

美波 「いいんじゃない。アキはどう？」

明久 「いいんじゃない。チケット買ってくるよ。」

美春 「お兄様。自分の分くらい払いますよ。」

明久 「せっかくのデートなんだからそのくらい払わせてよ。じゃあ行こうか」

明久 「すみません。学生三枚お願いします。」

受付 「学生証はお持ちですか？」

明久 「二人とも学生証ある？」

美春 「はい。お兄様。」

美波 「はい。アキ。」

二人は明久に学生証を渡した。

明久 「これでいいですか。」

受付 「はい。大丈夫です。 円になります。」

明久 「これをお願いします。」

受付 「 円ちょうどお預かりします。ではこちらがチケットです。ありがとうございました。」

明久 「じゃあ行こうか。美波。美春」

美春・美波 「行きましょう。」

映画が終了した後の3人は…

美波 「今日はありがとね。アキ」

美春 「今日はありがとうございました。お兄様。」

明久 「喜んで貰えて良かったよ。」

美波・美春 「目を閉じてアキ（目を閉じてください。お兄様）」

明久 「ええ！？何で!？」

美波・美春 「いいから、早くして。」

明久 「了解」

明久が目を閉じたのを確認して、美春と美波は明久にキスをした。

明久 「二人とも何をしたの!？」

美波・美春 「今日のお礼よ（です）」

明久は顔を真っ赤にしまった。

気まずい空気になってきた。

美波・美春 「アキ（お兄様）明日学校だね」

二人は満足そうに明久に別れを告げて帰っていった。

一方明久は…

明久 「美春に美波明日からどう接すればいいのか分からないよ（汗）」

顔を真っ赤のままそのようなことを考えていた。

こうして明久と美波&美春のデートは終わった。

第6話 試召戦争編 Fクラス VS Dクラス その後(後書き)

いかがでしたでしょうか。作者は不安ですが喜んで頂ければ幸いです。次はバカテストの予定です。感想等お待ちしております。

バカテスト 第8問（前書き）

バカテストがスランプです。アイディアが考えられなくなっています。
ではバカテストスタート。

バカテスト 第8問

問題 第八問 英語

問題 以下の問いに答えなさい。

「goodおよびbadの比較級と最上級をそれぞれ書きなさい。」

姫路瑞希・吉井明久・島田美波・平沢唯。秋山澪・琴吹紬・中野梓
の答え

「good? better? best」

「bad? worse? worst」

教師のコメント

正解です。この調子で頑張ってください。

田井中律の答え

「good? gooder? goodest」

「bad? bader? badest」

教師のコメント

まともな間違え方で先生驚いています。Goodやbadの比較級と最上級は語尾に-erや-estを付けるだけではダメです。覚

えておきましょう。

土屋康太の答え

「bad? butter? bust」

教師のコメント

『悪い』『乳製品』『おっぱい』

木下秀吉の答え

「明久に英語を教えて貰ってラブラブになる。」

教師のコメント

英語関係ないじゃないですか。吉井君指導の方頑張ってください。

バカテスト 第8問（後書き）

次回はBクラスの前の作戦会議かな。いつ更新かは未定です。感想やバカテストのアイデアお待ちしています。

第7話 試召戦争編 作戦会議（前書き）

今回は宣戦布告まで書きました。最近書くスピードが遅くなってる
ような気がします。

第7話 試召戦争編 作戦会議

現在補充テストが終わった。

明久 「終わったー。」

机に突っ伏す。

とりあえず全教科の補充が完了。 流石に全教科受けると疲れるよ。

秀吉 「うむ、疲れたわね。」

そう言っつて秀吉が答える。

今日の髪形はポニーテールだ。 うう。 僕のストライクゾーンを歩いてくるなんて……秀吉は美少女なのに……。

ムツツリーニ 「……………（コクコク）」

いつの間にかムツツリーニもいた。

雄二 「よし、昼飯を食いに行くぞ！ 今日ラーメンとカツ丼と炒飯とカレーにつすかな」

明久 「雄二。 僕はそのメニューの量の多さを指摘するのか、炭水化物ばかりなのかを指摘すればいいのか分からないよ。」

勢いよく立ち上がる雄二。 全然疲れを感じていないようだ。 どこがおかしい。 昼食のメニューも含めて。

美波 「ん？ アキ達は食堂に行くの？アキにお弁当作ってきたんだけどよかったらどう？」

明久 「ぜひご馳走になります。」

ムツツリーニ 「……………（コクコク）」

ムツツリーニが頷いているのは下心のせいだろう。 美波はモデルみたいな感じだからなあ。

美波 「アキ、なんかウチ褒められた感じがするんだけど？」

明久 「気のせいじゃない？」

女の勘は恐ろしい。

今は昼休みだ。

瑞希 「あ、あの。 皆さん……………」

雄二 「どうした姫路？お前も来るのか？」

瑞希 「あ、いえ。 実はお昼なんですけど明久くんと皆さんの分も作ってきたので一緒にいかがかと……………」

明久 「お弁当？」

瑞希 「はい。 迷惑じゃなかったらどうぞ。」

と、バッグを差し出す姫路さん。なんていい子なんだ！

明久 「迷惑なわけないよ。ねえ雄二。」

雄二 「ぜひご馳走になろう。」

唯・澪・律・ムギ・梓 「私達もナイト（旦那様）（アッキー）（明久様）（アキ様）にお弁当作ってきたから一緒に食べましょう」

秀吉 「私も明久のためにお弁当作ってきたから食べて（上目使い）」

明久 「僕一人じゃ食べきれないから皆で食べよう。」

雄二 「じゃ屋上でいいか？次の試召戦争の相談もあるからな。」

こうして屋上へ向かった。

明久 「皆のお弁当美味しそうだね雄二。」

雄二 「そうだな。明久。しかも全員明久のために作ってくれたんだからな。」

ムッツリーニ 「殺したいほど妬ましい。」

明久 「まあまあ落ち着いてよ。ムッツリーニ。」

雄二 「そうだぞ。明久は主戦力なんだから困る。やるなら田井中にしておけ。」

律 「ちよつと待つて。坂本。私ならいいの？」

雄二 「ああ。田井中ならいてもいなくても変わらないからな。」

律 「止めるな漣。私は坂本を殴らないと気がすまない。」

漣 「落ち着け律。坂本なら冗談で言っているだけだ。」

律 「なんだ。ならいいか。」

明久 「律の玉子焼き美味しいね。」

律 「やった。アッキーに褒められた。」

雄二 「そうだな。田井中は馬鹿だが、料理は旨いな。」

律 「ちよつと坂本！酷くない!？」

雄二 「人間何か取り柄があるもんだ。」

明久 「二人とも落ち着いて。せつかくのお昼なんだから。」

雄二 「そうだな。明久。」

明久 「唯の酢豚も美味しいね。」

雄二 「確かに。旨いな。」

唯 「ナイトに美味しいって言われた。」

明久 「皆良いお嫁さんになれるよ。こんなに料理が美味しいんだから。」

瑞希・美波・秀吉・唯・漣・律・ムギ・梓 「だったら私をお嫁さんにして下さい。」

雄二 「良かったな。明久。お嫁さんがこんなにして。羨ましいぞ。」

明久 「そうだね。皆僕には勿体無いくらいの美人ばかりで料理も美味しいし。」

雄二 「おい明久。皆顔を真っ赤にして固まってるぞ。」

明久 「わあごめん。皆こっちに帰ってきて。」

そんなこんなで昼食が終わった後。

美波 「坂本。次の試召戦争なんだけど。次は何処なの？」

雄二 「次はBクラスだ。」

秀吉 「何故Bクラスなの？」

雄二 「Fクラスの戦力じゃAクラスに勝てないからだ。」

唯 「最終目標はBクラスに変更なの？」

雄二 「そんなことはない。Aクラスをやる。」

律 「坂本言ってることが矛盾してるわよ。」

雄二 「クラス単位では勝てないから一騎打ちにするつもりだ。そのためにもBクラスを使う。」

雄二 「とりあえず一騎打ちに関してはまたAクラス戦の時に話すとして、Bクラスをやる。」

雄二 「田井中下位クラスが負けたらどうなるか知ってるか？」

律 「知ってるよ。え〜っと…」

明久 「設備を1ランク落とされるんだよ。AクラスならBクラスレベルといった具合に。」

雄二 「ちつ。その通りだ。なら上位クラスが負けた場合は？」

律 「悔しい。」

雄二 「ムツツリーニ、ペンチをくれ。」

ムツツリーニ 「了解。」

律 「ペンチで私に何をする気なの？」

明久 「待つんだ。二人とも。冷静になるんだ。」

漣 「設備が入れ替わるんだよ。律。」

雄二 「Bクラスをやったら、設備の入れ替えに代わりにAクラ

スに攻め込むよう交渉する。設備を入れ替えたらFクラスだが、Aクラスに負けるだけならCクラス設備で済むからな。まずうまく。」

律 「それでどうするの？」

雄二 「それをネタにAクラスと交渉する。『Bクラスとの勝負直後に攻め込むぞ』といった具合にな」

律 「なるほど！」

明久 「しかしAクラスは一騎打ちを受けてくれるの？こっちは僕に姫路さんに唯達がいるのに」

雄二 「その点は大丈夫だ。考えがあるからな。とにかくBクラスをやる。そのあとに細かいことは話すからな。」

雄二 「田井中。宣戦布告に行つて来い。」

律 「断る。坂本が行けばいいじゃないか。」

明久 「雄二。僕が行くよ。Fクラスにいるのはばれてるだろうし。」

雄二 「分かった。それなら明久に任せる。」

明久 「じゃあ行つて来る。」

こうして明久はBクラスへ向かった。

明久がBクラスから帰って来た。

明久 「ただいま雄二。今日の午後開戦と伝えて来たよ。」

雄二 「ご苦労だったな。明久。しかし殴られなかったか？」

明久 「振り返ちにしたよ。全力の回し蹴りしたらその人機を捲き込みながら、倒れたのを見て話を聞いてくれたよ。」

この場にいる全員が恐怖を覚えた。

こうしてBクラス VS Fクラスの戦いが始まる。

第7話 試召戦争編 作戦会議（後書き）

次回はバカテスト？かな。でもバカテストが浮かばないので分かりません。

感想等お待ちしております。

バカテスト 第9問(前書き)

気がついたらPV 30000越えでしたしユニーク4500越え
でした。これからも頑張ってくださいですのでよろしくお願ひします。

バカテスト 第9問

問題 第九問

問題 以下の問いに答えなさい。

あなたの夢は何ですか？

吉井明久の答え

「悲しむ人のいない世界を作ること。」

教師のコメント

吉井君らしい答えですね。難しいとは思いますが、吉井君なら出来るような気がします。

霧島翔子の答え

「雄二のお嫁さん。」

教師のコメント

霧島さんは坂本君が好きなんですね。先生は応援してます。

木下秀吉・島田美波・姫路瑞希・清水美春・平沢唯・秋山澪・田井中律・琴吹紬・中野梓の答え

「吉井明久の妻」

教師のコメント

吉井君後で職員室に来るように。きっちり生徒指導しますから。決して羨ましいからではありません。

土屋康太の答え

「プシャアアアア」(血液の痕)

教師のコメント

君は何を想像したのですか。

バカテスト 第9問（後書き）

次回はBクラス戦ですね。いつ投稿できるかは未定です。感想等お待ちしています。

第8話 試召戦争編 Bクラス VS Fクラス 前編（前書き）

今回はやってしまった感が強いです。この意味は小説を読んでもらえれば解ると思います。では本編をどうぞ。

第8話 試召戦争編 Bクラス VS Fクラス 前編

雄二 「皆全科目のテストご苦労だった。」

教壇に立ち雄二が机に手をつけてFクラスの皆を向いて言う。

さっき全科目のテストが終わり、昼食を取った所である。

雄二 「午後はBクラスとの試召戦争だが、気合は充分か？」

モブ達 「おう！」

モチベーションは維持したまま。点数が低いFクラスの唯一の利点だね。

雄二 「今回の戦闘は長引かせればこちらが不利になる。開戦直後は絶対に負けるわけにはいかない。」

モブ達 「おう！」

雄二 「そこで部隊には姫路と明久と平沢と秋山と琴吹と中野のFクラス主戦力を投入し、今日中にBクラスと決着をつけたいと思ってる。」

瑞希 「頑張ります。」

明久 「了解。」

唯 「まかせてよ。」

漣 「頑張る。」

ムギ 「任せてちょうだい。」

梓 「わかりました。」

女子と一緒に戦えるだけに皆の士気はMAXだ。

今回の廊下の戦闘は絶対に勝ちに行くらしく戦力は僕たちAクラス並だけでなくFクラスの大半をつぎ込むようだ。

キンコーンカーンコーン

昼休み終了の合図が鳴り、Bクラス戦が始まった。

雄二 「よし、行って来い！目指すはAクラスの設備だ！」

モブ達 「了解だ！」

この戦いで重要なのは敵を蹴散らすことだ。明久達は全力でBクラスへと向かう廊下を駆け出した。

今回のFクラスの主力は理数系の科目だ。Bクラスは文系が多いことと数学の長谷川先生の召喚範囲が広いことからだ。物理の先生もいる。

モブ1 「いたぞ、Bクラスだ！」

モブ4 「高橋先生を連れてくるぞ！」

正面からBクラスのメンバーがくる。人数が20人程度と言つところを見ると僕を警戒しているようだ。

モブ8 「生かして帰すなー！」

物騒なセリフが聞こえたが、試召戦争が始まった。

Bクラス モブ1 VS Fクラス モブ13

総合科目 1943点 VS 746点

Bクラス モブ4 VS Fクラス モブ2

数学 156点 VS 71点

Bクラスモブ5 VS Fクラス モブ8

物理145点 VS 72点

。 FクラスとBクラスでは圧倒的な差があるから次々と戦士していく。

明久 「皆いくよ。」

瑞希・唯・漣・ムギ・梓「うん。」

明久・瑞希・唯・漣・ムギ・梓「試獣召喚。」

明久達は召喚する。

Fクラス 吉井明久&中野梓&平沢唯

総合 9801点&4801点&2065点

Fクラス 秋山澪&琴吹紬

物理 455点&412点

Fクラス 姫路瑞希

数学 555点

Bモブ4 「なんなんだ吉井の点数!？」

Bモブ1 「本当にFクラスなのか!？」

Bモブ3 「皆総合科目の方に来てくれ。」

Bモブ達 「了解」

皆の点数にBクラスが動揺する。

明久 「腕輪発動」

Bモブ達 「召喚獣が動かない。」

明久 「今のうちに倒すよ。唯、梓。」

唯 「うん。ナイトやるね。」

梓 「分かりました。アキ様。」

総合科目内の敵12人を3人で一撃で倒した。

Bモブ0 「おい。総合科目のやつら全員戦死してるぞ。」

Bモブ9 「俺達で勝てるのか？」

相手は戦意喪失したようだ。

瑞希 「行きます。熱戦。」

岩下 「真由美避けて。」

菊入 「そんなこと言っても無理。」

二人の召喚獣が炎に包まれて戦死したようだ。

漣達も戦死させたようだ。

明久 「このまま代表を倒すよ。皆いい？」

根本 「待ってくれ。吉井」

明久 「根本君！？何を待てるんだい？」

根本 「Bクラスは降伏する。」

Bモブ達 「何を言ってるんだ！？代表。」

根本 「正直にいつてBクラスはこのままでは負ける。お前達を戦死させるわけには行かないんだ。代表としてクラスメイト達に不利益があつてはならない。解つてくれ。」

明久 「解つた。皆攻撃をやめるんだ。先生戦争終結の合図をお願いします。」

教師 「戦争終結。勝者Fクラス」

こうしてBクラスとの戦争は終わった。

第8話 試召戦争編 Bクラス VS Fクラス 前編（後書き）

いかがでしたでしょうか？根本が原作と違い良いやつになってしまいました。皆様の反応が怖いです。次回は未定です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0577x/>

バカとテストとけいおん部

2011年10月11日12時02分発行